

改憲NO！ 国会憲法審査会傍聴記

5月20日に参議院、21日に衆議院で憲法審査会が開催されました。改憲へ突き進む自民党と日本維新の会、それをアシストする国民民主党が、あらゆる口実で改憲発議へ向けた議論を強引に押し進めようとしています。

20日は、参院選の「合区」解消を糸口に、自民や維新が「緊急事態条項の議論を」と要求。法律や国会改革で解決すべき課題を改憲にこじつける執念を剥き出しにしました。これに対し立憲民主党は「明確に反対」と表明。日本共産党も、選挙制度は特別委員会や参院改革協議会で議論すべきであり、「改憲発議のための憲法審査会を動かす理屈にはならない」と一蹴しました。初めて傍聴した次世代会員は「インターネットで傍聴したことはあるけれど、空気、雰囲気、来てよかった」と語り、「内容はそれぞれが言いたいことを言っているだけで混とんとしていた」とまともな議論がなされていない実態に驚いていました。

21日の衆院では「緊急事態条項」を討議。内閣が国会を通さず法改正などを代替する危険な「緊急政令」を主張する自民党と、中身の議論がされていないにもかかわらず、何度も「ここまではピン留め(合意)できている」と繰り返し、強引に既成事実化しようとする維新の会。対する野党は「認識がばらばら」「矛盾している」など、反対・慎重論が相次ぎました。終了後、国会前で憲法審査会現状報告集会がおこなわれ、立憲、共産、社民の国会議員が憲法審査会の現状を報告しました。畑野議員(共産)は、「自民党が憲法審査会で9条改憲の話をしたのは1回目だけ。今はしなくなった」と発言。改憲発議を許さない私たちの行動が響いていると、確かな手応えを感じました。(F)

端切れでフラッグ

山口・徳山支部



平和憲法を守るデモで

原爆展で憲法9条

岐阜・中津川支部



原爆展で自己書で描いた憲法9条を展示、シールアンケートもいっしょに

背中アピール

新潟



県本部と新潟支部で署名行動。その後、背中でもアピールしてウォーク

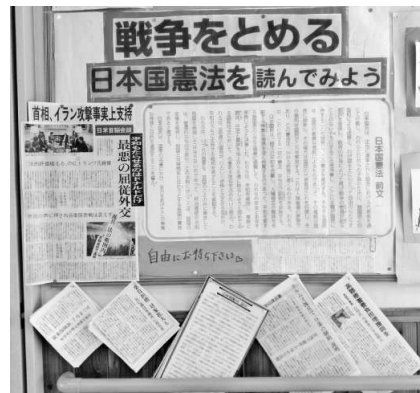
X(旧ツイッター)の記事、「平和じゃないと積読できない」をきっかけにみんなで本を持ち寄る「積読デモ」を企画しました。新婦人の真ん中世代やSNSで呼びかけた6人と子ども1人が参加。本の埃を払い、テンションの上がるブックカバーをつけて、いざ日の当たる世



NO WARのブックカバー

界へ！いろいろなジャンルの本を持ち寄り、本の写真撮影、自分の背中に好きなメッセージを貼りつけ、静かに読書タイム開始。すぐに本の内容や最近の情勢について座談会になり2時間があったという間。本に没頭できる時間は正義！平和じゃないと本も読めない！

1945年生まれのお友達が、お正月の書き初めで憲法前文を書いたと知り、ひまわり1、IIの合同班会で憲法9条を筆ペンで書きました。さっそく班会できるといきました。さつくり読みながら文字にいくと、文章の素晴らしさがよく理解でき、感動しました。「これまで日本は9条があったから戦争をすることがなかったことがよくわかりました」「前文も書きついで、



注目を集める展示

入居者や施設職員からも「いいね、この記事」と、話題になっています。

戦争とめる憲法まもる

1面から

平和じゃないと積読できない

香川・高松支部

いろいろなジャンルの本を持ち寄り、本の写真撮影、自分の背中に好きなメッセージを貼りつけ、静かに読書タイム開始。すぐに本の内容や最近の情勢について座談会になり2時間があったという間。本に没頭できる時間は正義！平和じゃないと本も読めない！

憲法9条を 読んで写す

広島・廿日市支部



筆ペンで書きました

施設の食堂に 憲法を展示

北海道札幌白石支部

さんご班の会員が入居している施設に、日本国憲法前文を張り出したところ、注目を集め話題になりました。「この施設に入居している会員は80代と90代の

6人。平和を考える話題を毎月張り出しています。2月は何にしよっか」と考えていた矢先に、新婦人しんぶんが日本国憲法前文が掲載され、みんなで改めて前文を読み感動。「緊迫が続くイラン情勢のもと、これ以外にない」と、紙面を拡大して食堂に張り出しました。入居者や施設職員からも「いいね、この記事」と、話題になっています。

女性ニュース

2026. 5. 30

ジェンダー署名提出

20日、新婦人が参加する日本婦人団体連合会(婦団連)はジェンダー平等4署名(▽女性差別撤廃条約選択議定書批准▽選択的夫婦別姓導入▽日本軍「慰安婦」問題解決▽所得税法56条廃止)計29万4036人分(うち新婦人24万5296人分)を国会に提出。日本共産党と「沖縄の風」の6人の議員に手渡した。紹介議員は27人。

選択的夫婦別姓など12分野のジェンダー平等施策を求めた省庁要請もおこなわれた。



女性参政権80年シンポ

19日、市川房枝記念会女性と政治センターが女性参政権行使80年を記念したシンポジウム「民主主義の担い手としての女性」を開催。女性参政権行使から80年たっても、衆議院の女性議員比率は14.6%。代議制民主主義と市民運動の両輪で促進を、とよびかけた。

学校で性教育を

朝日新聞が全国の保護者に学校の性教育についてアンケートを実施し、37都道府県から2421件の回答。9割近くが「学校にもっと性教育を」と求め、性交を教えるはならないとする学習指導要領の「はどめ規定」についても、7割が不要と考えている。性教育は学習指導要領にもとづ

き適切に行われているとする政府の見解と、保護者の意向に開きがあることが明らかに。

超大国の責任問う

国連のグテレス事務総長は20日、日本記者クラブで会見。米国やロシアなどの超大国について、「多国間主義が危機なのではなく、国際法を破り紛争を自ら引き起こし、拒否権を行使して免責される超大国のふるまいこそが危機的なのだ」と厳しく非難、この事態に沈黙しないと強調。

食糧法改悪するな

20日、農民連は主要食糧法「改悪」阻止、日本の米を守れ5・20院内集会を開催。「需要に応じた生産」ではなく、所得補償・価格保障実現を訴えた。

国会 スポット

■補正予算組まれるも 22日、片山財務相は2026年度補正予算案について、高市首相が詳細を説明するのべた。ナフサ不足で苦しむ業者や医療などへの補助、消費税減税については含まれない見通し。

■再審法改正案、衆院審議入りへ 与野党は21日、再審法改正案を26日に衆院本会議で審議入りさせることで合意。政府案では検察による不服申し立ての抜け道が残り、冤罪被害が救えないとし、中道、みらい、共産は抗告の全面禁止を盛り込む対案を共同提出。あわせて審議される。

■健保法等改正案は廃案に 参院で審議中の健保法等改正案をめぐる、21日、徹底審議と廃案を求める院内集會が開催され、立憲、共産、れいわの議員が出席。ロキソニン、アレグラなどの追加負担中止を求める請願署名20万1373人分(新婦人1646人分)が提出された。